



鷲野 聡明 議員

愛西市誕生10周年記念事業は

質問

来年4月1日は、海部西部4力町村が新設合併による新市「愛西市」誕生から10周年の節目となる。市誕生10周年の記念事業構想があるのか。

総務部長

平成17年4月に合併をして10周年を迎える。この場では、事業内容、実施時期など具体的なことについて言うことはできない。ただ、10周年という区切りの年になるので、それを起点に、厳しい財政状況の中で、発展に向けた飛躍の年となるような、記念

に残るような事業は展開したい。

質問

市誕生10周年記念事業の担当部課は。

総務部長

総務部秘書課で担当したい。なるべく予算をかけずに多くの皆さんに喜んでもらえるような、また、記憶に残るようなイベントを計画したい。

公共施設等総合管理計画の進捗は

質問

公共施設の全体を把握し、更新、統廃合、長寿命化などを計画的に行うことにより、財政負担を軽減、平準化し、公共施設等の最適な配置を実現することは重要である。

計画の推進には、公共施設等マネジメント検討部会が担当と聞いているが、現在の進捗状況と課題は。また、公共施設の統廃合などについては、市民参加の協議が必要ではないか。

総務部長

全庁体制で取り組まなければならぬ。関係部署から課長クラス19名で構成した愛西市公共施設等マネジメント検討部会を6月に設置しており、4回ほど、約半日かけて中身を検討している。

今年度は、公共施設などの情報収集を行い、その詳細把握と課題の検討、基本方針の

取りまとめなどの作業を進めている。公共施設の統廃合について、市民参加の協議は、当然検討し、取り入れていくべきものと考えている。

質問

計画実行には、民間企業経験者の専門技師採用が必要ではないか。

また、公共施設を一括管理する専門部署があれば、より効果的であると思うが。

総務部長

この4月に1級建築士を1人採用しており、建築行政事務として都市計画課に配置をしている。今後、市の将来を考えた場合、こういう専門職は計画を持って採用していくことも必要ではないか。

現状の職員の総枠の中で、特化した部署をつくるということは、今時点では、ある程度期間が必要ではないかと思っている。



▲統合庁舎イメージ図